

## <コメンテーター略歴>

喜多洋輔 外務省 国際協力局 国際保健戦略官



厚生労働省に入省後、HIV/AIDS 対策、予防接種法改正、介護保険制度改革などに従事。その後、世界保健機関（WHO）ジュネーブ本部に出向し、マラリア対策等を担当。地方自治体（山口県）への出向では、健康福祉部において健康政策や医療政策の推進に携わる。2019年から厚生労働省大臣官房国際課にて国際保健企画官を務め、2020年のCOVID-19発生時にはダイヤモンド・プリンセス号対応にあたる。

2020年より国際連合日本政府代表部参事官として、国連総会ハイレベル会合（2023年：UHC、PPR、結核等）を含む保健関連議題の交渉や、第57回国連人口開発委員会副議長を務める。2024年8月より現職。医師。イェール大学公衆衛生学修士、ハーバード大学行政学修士。

高橋順一 厚生労働省 大臣官房国際課 国際保健・協力室長



2024年7月より現職にて、国際保健分野における国際協力の推進に取り組んでいる。2006年に外務省入省後、本省にて日米経済関係、対南アジア開発協力、国際貿易政策、対南米外交、在外公館全般の運営・管理支援などを担当するとともに、在ベトナム大使館において日・ベトナム関係の一層の深化に尽力。東京大学法学部卒。東京大学公共政策大学院（公共政策学修士）、ジョージタウン大学法科大学院（LL.M.）、コロンビア大学東アジア研究所（東アジア地域研究修士）修了。

西野義崇 公益財団法人 日本国際交流センター（JCIE）リサーチ・オフィサー



東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻にて博士（保健学）取得。NGO AMDA 社会開発機構にてシェラレオネの保健システム強化事業等に従事した後、獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座の助教として地域医療や外国人医療等について研究。2021年よりJCIEの「グローバルヘルスと人間の安全保障」プログラムにて関連事業に取り組む。開発経済学、社会疫学、国際保健学が交差する領域を専門としつつ、そこに人文科学系の知見をいかに盛り込むかに関心を持っている。